河川名：信濃川水系夜間瀬川
観測所名　：星川水位観測所

台風・前線活動に伴う洪水を対象とした、山ノ内町の避難情報等の発令に着目したタイムライン

令和３年(2021年)５月

気象・水象情報

◇早期注意情報（警報級の可能性）

◇台風に関する長野県気象情報（随時）

◇台風に関する気象庁記者会見

◇台風注意報・洪水注意報

◇大雨警報・洪水警報（レベル３相当）

○ホットライン（長野地方気象台）

星川（　水位　０．６ｍ　）

星川（　水位　１．３ｍ　）

星川（　水位　１．４ｍ　）

○ホットライン（長野地方気象台）

◇土砂災害警戒情報発表

星川（　水位　１．８ｍ　）

◇大雨特別警報（レベル５相当）発表

○ホットライン（長野地方気象台）

0h　越流　氾濫発生

※気象・水象情報に関する発表等のタイミング　については、事象によって、異なる。

北信建設事務所

○河川管理施設の点検・操作

○災害対策用資機材・復旧資機材等の確保

○水防勤務体制開始

○水防団待機水位到達情報
○水防警報「準備」

○氾濫注意水位到達情報
○水防警報

水防(出動)

○「避難判断水位」到達情報
（警戒レベル3相当）
○水防警報「出動」

○操作員の退避

○「氾濫危険水位」到達情報
（警戒レベル4相当）
○水防警報

○ホットライン

○氾濫発生情報
（警戒レベル5相当）

○被災状況の把握

※北信建設事務所水防勤務要領

山ノ内町

○防災気象情報等の収集

○住民への広報

○警報に替わる可能性大か

災害警戒本部設置

○防災情報システム「警戒本部」入力

○危機管理課長は次の事項を判断する。

○必要に応じて、助言を要請　土砂災害への警戒

○災害対策本部設置の判断
○「高齢者等避難」発令の判断
○消防団との連携の判断
○自主防災組織との連携の判断
○職員参集・任務付与
○情報収集発信体制の確立と情報発信

災害対策本部設置　職員参集は

○消防団と連携開始
○自主防災組織と連携開始
○情報発信（防災無線等）
○指定緊急避難場所の準備
○防災情報システム「対策本部」入力

消防団：警戒及び避難支援活動準備

自主防災組織：避難場所準備・避難支援活動準備

職員参集は　警戒レベル3　高齢者等避難

○要配慮者利用施設への伝達
○指定緊急避難場所の開設
○情報発信（避難場所開設情報等）
○必要に応じて、助言を要請

全職員配置　警戒レベル4　避難指示

○必要に応じて、助言を要請

○必要に応じて、助言を要請

警戒レベル5　緊急安全確保

○消防団の活動停止、退避

避難指示等の解除　または受援活動

○避難者への支援
○防災情報システム（被害、応援要請）入力
○被害市町村応援職員確保システム（応援要請）

住民等

○災害への心構えを高める

○テレビ、インターネット等の気象情報に注視

○避難に備え自らの避難行動を確認する

○親戚・友人宅への事前避難を考える

○「災害対策本部設置」情報の受信

○消防団員出動準備
○自主防災組織出動準備

土砂災害危険のある場所では高齢者等は避難

○防災無線等による
「高齢者等避難」情報を受信
「指定緊急避難場所の開設」情報の受信

洪水危険のある場所から高齢者等避難開始

避難支援活動

土砂災害危険のある場所から全員避難

○防災無線等による
「避難指示」情報の受信

洪水危険のある場所から全員避難開始

○防災無線等による
「緊急安全確保」の受信

ただちに命を守る行動をとる

※　このタイムラインは、想定最大規模の降雨時に発生する夜間瀬川流域で発生する洪水に関して、山ノ内町の避難情報の判断・伝達、避難行動計画をまとめたものである。